第 38 回健康学習研修会日程表

テーマ ： 元気・やる気が生まれるコミュニケーション法とは
ねらい ： 「健康学習」の主体は住民。専門職が教える健康づくりでなく、住民が学ぶ健康。健康診断のデータを入口に住民の健康生活にどう結びつけていくか。保健医療従事者の関わりが意識を動かし、住民が自ら行動を興し、自分らしい健康につながっていくサポートが求められます。知識伝達、健康体験は健康行動のきっかけにはなります。健康問題を自分事として考え、継続的な健康行動に繋げるコミュニケーション法が健康学習の基本です。人のやる気を引き出す個対個のコミュニケーション法、集団を元気にする教室の運営法、住民が主体的に健康事業に参加し、住民と専門職が一体になった事業の展開法をつかんでいただきます。保健医療従事者に求められる健康学習の実践的技法・発想がわかる二日間です。

7 月 4 日（木）	7 月 5 日（金）
9:15 受付 9:45 開講式 オリエンテーション 10:00 住民が元気になるコミュニケーション技法 ～伝え上手、尋ね上手、返し上手～ 日本ヘルスサイエンスセンター 医師 石川　雄一 12:15 昼食 13:15 集団がやる気になるために ～ムードづくり及びシナリオ作成法～ 日本ヘルスサイエンスセンター 医師 石川　雄一 15:15 休憩 15:30 総合的視点から見た心身の健康指導 住民の力を伸ばす ～魔法の言葉かけ～ 医療法人博仁会 共済病院 医師 杉山　葉子 17:30 情報交換会	9:00 明日から使える健康学習 ～住民の健康づくりに 大切なこと・必要なこと～ （元）新潟県燕市役所 保健師 石田　奈津子 10:45 休憩 10:50 結果につながる健康学習の実践 ～住民の視点に立った コミュニケーション～ 南奈良総合医療センター 医師 中山　進 12:30 昼食 13:30 新しい時代の健康の着眼点とは ～過去・現在・そして未来へ～ 新町クリニック健康管理センター 医師 神應　知道 15:10 休憩 15:20 住民の視点に立ったメタボリック症候群対策 ～継続的行動変容につながる コミュニケーション～ 川崎市立多摩病院救急災害医療センター 医師 野村　悠 17:00 閉講式 17:15 注）カリキュラム及び講師の一部が変更になることがありますので、予めご了承ください。